

○渡辺 直彰<sup>1</sup><sup>1</sup>エーザイ

結核・マラリア・HIV/AIDS の有名な三大感染症のみならず、日本では耳にしないリンパ系フィラリア症 (LF)、シャーガス病 (CD) など顧みられない熱帯病 (neglected tropical diseases; NTDs) の感染に、発展途上国の何十億という人々が危険にさらされ、その健康が損なわれている。本年、菌腫 (mycetoma) が WHO から 18 番目の NTD に指定され、世界には制圧すべき NTD が数多くある。LF は、日本では制圧されたが、世界では今なお 1 億以上の人々が感染している。CD はラテンアメリカを中心に 800 万人もの感染者が存在する原虫感染症である。これら感染症に対し、弊社はさまざまな団体との協力のもとクスリの種を見つける探索研究、人でのクスリの効果や安全性を試験する臨床研究、さらに途上国へのクスリの提供まで、さまざまな段階での医薬品アクセスの改善に取り組んでいる。

このシンポジウムでは、1) LF に対するジエチルカルバマジン錠の WHO への無償提供、2) Drugs for Neglected Diseases initiative と共同開発している抗真菌剤 E1224 のボリビアにおける CD 患者に対する臨床試験、およびスーダンにおける菌腫症患者での Phase 2 臨床試験、3) GHIT Fund 等の支援のもと、パートナーとの共同で進めている CD、マラリア、結核等に対する新しい治療薬創出のためのライブラリー化合物スクリーニングから臨床研究までの研究開発プロジェクト、4) NTDs 研究に貢献するため化合物やノウハウを提供する WIPO Re:Search プロジェクト等 NTDs に対する弊社の取組みを紹介する。